



私の街こまつ



THE KOMATSU CITY COUNCIL NEWS

議会だより

2024

8.1

NO.214

\\ Topic! //

令和6年度補正予算
37億853万5千円を可決

Contents

6月定例会	2	特別委員会 調査報告	14
市政Q&A	3	議決結果	16
常任委員会 審査報告	11		

撮影 小松大谷高等学校写真部 2年生 木村 莉菜さん



市議会HP



マチイロ

6月定例会

会期〈6月10日～6月27日〉

6月10日 開会

市長提出議案

予算案 4件

条例案 7件

(継続審査議案1件を含む)

その他議案 6件

18日 一般質問 (7人)

19日 一般質問 (4人)

20日 一般質問 (5人)

21日 各常任委員会 (分科会)

24日 特別委員会

25日 予算決算常任委員会

27日 閉会

市長提出追加議案 2件

議員提出議案 4件

※議案等の採決結果 (P16参照)

予算案をチェック ☒

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。(P11・12参照)
主な提案内容を紹介します。

令和6年度6月補正予算

会 計 名	補 正 額
一般会計	18億1,853万5千円
特別会計	4,600万円
企業会計	18億4,400万円
合 計	37億853万5千円

一般会計の累計

534億6,853万5千円

全会計の累計

1,122億6,313万5千円

下水道事業災害復旧



【事業費】14億7,640万円

【内 容】令和6年能登半島地震により被災した下水道管路について、他自治体からの派遣職員を受け入れつつ、迅速な災害復旧を図ります。

物価高騰緊急支援 給付金費



【事業費】9億1,080万円

【内 容】令和6年分所得税及び住民税において、定額減税しきれない見込みの方へ差額を支給します。また、新たに住民税非課税や均等割のみ課税となる世帯に1世帯あたり10万円を支給します。

こどもの居場所づくり 支援費



【事業費】550万円

【内 容】養育環境に課題を抱える中高生等が安心して過ごせる場所を小松駅周辺に開設し、相談・交流などを通し、社会的自立・成長を後押しします。

条例案等をチェック

市長から提出のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。
(P12・13参照)

人事案件

人権擁護委員
かみや きょうこ
神谷 恭子 氏（串町）

の推薦に同意しました。

本会議の討論

橋本議員から市長提出議案第53号に対し、反対討論がありました。

議員提出議案をチェック

議員から提出された議案のうち意見書については、可決された意見書を、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に送付しました。（賛否はP16）

議案第6号 被災者の住環境に係る支援の拡充を求める意見書

議案第7号 令和6年能登半島地震からの復旧・復興への更なる支援を求める意見書

議案第8号 公費解体の促進に向けた特例的な措置を求める意見書

議案第9号 教職の重要性を踏まえた教師の処遇改善を求める意見書

一般質問 市政 Q&A

「こども誰でも通園制度」の取組へ



かたやま しゅんじろう
片山 瞬次郎
議員

一括質問



動画でチェック

◆改正子ども・子育て支援法

Q 「こども誰でも通園制度」の対応について。

A 保育士の確保が大きな懸念点であり、国の方針に従い本制度創設の検討の際には、ニーズ量の見込みと一時預かり保育事業等の整理、在園児の質の高い保育環境の維持など総合的に判断した上で決定していく必要がある。

Q 育児休業給付金の引き上げについて。

A 本市職員は、国制度同様に支給される予定。今後も育児を行う職員が安心して休暇・休業を取得できる職場環境づくりに努める。

◆災害ケースマネジメント

Q 地域防災計画と平時からの被災者支援のための取組は。

A 令和4年8月大雨時等の、被災者への個別支援の実施を踏まえ、次の地域防災計画改定時、災害ケースマネジメントについて盛り込んでいきたい。また、能登半島地震では医療機関や介護施設等と連携して個別支援を実施。課題等の検証、分析を行い、今後も被災者に寄り添った支援につなげたい。

Q 東部地区防災活動拠点施設の整備状況は。

A 本年10月上旬の完成を予定。

◆メンタルヘルス事業等について

Q ゲートキーパーの役割は。

A 身近な人のいつもと違う様子に気づき適切な相談員につなげる、心の悩みを持つ人への初期支援。

Q 高齢者等のGPS活用について。

A GPS機能の活用や地域住民の協力により、住み慣れた地域で安心して生活を継続することができる環境を整えていきたい。

◆小松市の教育について

Q 教育長の思う教育の目的と教育環境は。

A 本市の豊かな地域資源を生かした学習を積極的に取り入れ、地域への愛着心を育むとともに、自ら情報を発信することができる、生き抜く力を備えた人材を育てていくことが教育を行う目的であると考えている。学校、家庭、地域ぐるみで小松の子供を見守り育てるウェルビーイングな環境づくりを実現していきたい。

中ノ峠トンネル付近のボトルネック（ヘアピンカーブ）解消と高齢者の閉じこもり対策、老人福祉センター千松閣について聞く



むらなか ひろし
村中 洋
議員

一括質問



動画でチェック

◆国道360号のボトルネック解消について

Q 小松市と白山市の市境区間（三坂隧道周辺）の早期事業化を望む。

A 道路管理者である石川県に要望する。

Q 白山麓や白川郷との地域交流の今後の展望は。

A 交流の活性化は、小松空港の利用圏拡大や環日本海交流の中心としての役割を担っていきたい。

◆地区防災計画の作成及び避難所運営について

Q 地区防災計画を作成するメリットや専門的知識を持った防災士と連携する具体策は。

A 避難経路や避難場所の確認、地域の防災力を高め、コミュニティの維持・活性化を図る。

Q 避難所が開設されたが、改善点と今後の解決策は。

A 地域の方も開錠できるよう、デジタルキーボックスを7月1日から運用する。

Q 避難所運営協議会に専門的な知識を持った防災士との連携を行政がどのように行うのか。

A 防災士の会を通じて意見交換しながら行っていきたい。

◆高齢者の閉じこもり対策について

Q 実態把握をしているのか。

A 高齢者総合相談センターが中心となり、民生委員等と連携しながら実態把握している。

Q 社会的つながりの維持・強化策は。

A 高齢者総合相談センターや民生委員等と連携しながら推進する。

Q 生活状況の定期的チェックは。

A 訪問してチェックリストで状態を把握している。

◆老人福祉センター千松閣の代替施設検討の進捗状況は

Q 小松市老人クラブ連合会から要望書の回答と時期は。

A 人口減少時代において専用の施設、特定の目的だけの施設建設や既存の公共施設に機能を付加して活用することも検討したが、大変難しい。

後期高齢者医療被保険者証の廃止について



はしもと よねこ
橋本 米子
議員

一括質問



動画でチェック

◆なぜこの時期に提案されるのか

Q どのような内容を問う。

A マイナンバー法が改正され、令和6年12月2日から従来の被保険者証の交付がなくなる。

Q 後期高齢者の被保険者数とマイナ保険証登録件数について。

A 被保険者数は1万8,087人、マイナ保険証登録者数は1万304人。

Q 資格確認書発行予定数と比率は。

A 資格確認書発行予定数は7,783人で比率発行率は43.03%。

◆資格確認書は保険証と同じ役割か

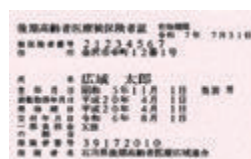
Q 資格確認書とはどういうものか。

A マイナンバーカードによりオンライン資格確認を受けることができない状況にある方に対して必要な保険診療等を受けられるようにするもの。

◆保険証廃止は国民皆保険制度の崩壊につながると思う

Q 保険証1枚で「いつでも、だれでも、どこでも」医療にかかることが出来た制度を守ってほしい。

A マイナ保険証は患者、医療現場に大きなメリットがある。丁寧に説明し、普及に努める。また、高齢者施設等へも出向きたい。



今年12月2日から保険証が資格確認書に変わる
マイナ保険証を保有していない場合

◆市内の小河川におけるPFOS等の水質検査について

Q 有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の健康被害の指摘は。

A 国際的に検討が進められている。

Q 市内5か所の検査場所はどのような基準で選定されたのか。

A 泡消火器が使用されていたと想定される施設を中心に偏りがないように選定した。

Q 検査結果についてと、今後どのような検査を考えているのか。

A 検査結果は大きな影響を及ぼすものではないと考えている。暫定指針値を上回った箇所は再調査を予定している。